平成26年度　コンポスト容器購入費補助金 募集説明書

コンポスト容器の購入に対して補助金を交付します

八戸市のごみ量が増加しております。

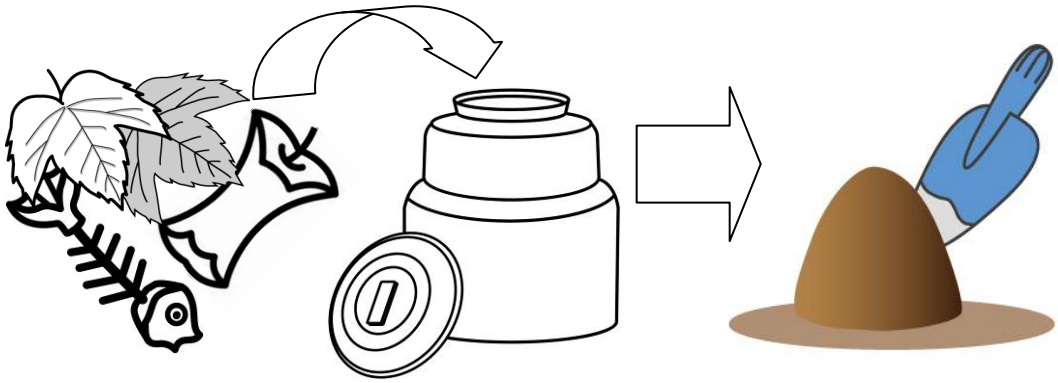
年　　度	ごみ量（市民一人一日当たり）
平成２３年度	９８８ｇ／人・日
平成２４年度	１，００９ｇ／人・日
平成２５年度	１，０２２ｇ／人・日

市の家庭ごみの燃やせるごみの組成で、重さで最も多いのが「生ごみ」３２%、次に多いのが「草木」２３%となっております。「生ごみ」や「草」、「落葉」については家庭での自家処理が可能な分類のごみであることから、家庭での自家処理を促進するために「コンポスト容器」の購入費補助を行います。

各家庭での自家処理により、ごみ減量への御協力をお願いいたします。

〇補助金の交付を受けるには、コンポスト容器の購入前に市環境政策課への申請が必要です。

〇補助金の交付を希望される場合は、この説明書に添付されている申請書により市環境政策課に申し込みください。



コンポスト容器とは、畑や庭等に備え付けて、土の中の微生物の働きでごみの有機成分を分解、堆肥化させ、土に還すことで生ごみ等の減量化を図るものです。

募集期間：７月１日（火）から

募集台数：２００ 基程度（１世帯２基まで）

※先着順で受付し、予算額に達した時点で終了します。

注意…１．購入後の申請は、補助の対象となりません。

２．補助決定後、ホームセンター等任意の店舗等で購入してください。

３．補助決定通知書の第三者への譲渡は無効です。

４．密閉式容器（ＥＭバケツ）は補助対象外です。

問合せ先：〒031-8686　八戸市内丸一丁目1-1

八戸市　環境部　環境政策課　　電話 43-9362 （直通）

コンポスト容器とは？

１．コンポスト容器による効果

燃やせるごみのうち、重さで生ごみは３２％です。これを家庭において堆肥化による自家処理を行うことで、燃やせるごみの排出量を減らすことができます。

また、「草」や「落葉」についても自家処理が可能です。

２．処理できるもの

生ごみ（調理くずや残飯等）、刈草（乾いた物）、落葉等。

※プラスチック類、ガラス、貝殻や太い骨、大き目の種等は入れないでください。

３．設置

〇日当たりや水はけの良い場所に約30cm土を掘り、容器を10cm程度地中に埋めて固定します。

※掘った時に出た土は容器の周りに取っておき、後でごみにかぶせる際に使用します。

〇容器を２基設置して使いまわす方法が有効です。

※ごみを投入する容器と、投入を停止して発酵を進める容器とで使い分けたほうが効率的です。
（受入を停止した容器は、水分が追加されなくなることで発酵も進みやすい）

※コンクリート、アスファルトの上での使用は避けてください。

４．使用

（1）生ごみをよく水切りし、容器内に投入する。
※ 水分が多いと発酵が遅くなったり臭いが強く出ることがあるので水分を切ってください。
※ 生ごみはできるだけ細かくすることで分解が進みやすくなります。

（2）生ごみの上に土を被せる（土と一緒に刈草や落葉を入れると、水分調整、発酵促進に効果的）。
※ 落葉は過剰水分を吸着し、表面にいる微生物の働きにより分解が進みます。

（3）時々、内部に空気を入れるようかき混ぜる（微生物の働きを活発化させるため酸素を入れる）。

（4）容器が一杯になるまで、これを繰り返す。

（5）一杯になったら設置した容器を引き抜き、よくかき混ぜ土をかぶせて発酵させる。

（6）数か月後、黒くなり、においがしなくなれば堆肥の完成。
※ ２基の容器を交互に使用すると、(5)の容器を引き抜いての移設の必要なく、分解を進めることができます。

（メモ）

〇発酵にはおおむね、夏場で１か月、冬場は半年程度要します。

〇かくはんや水分調整を行わないと悪臭が発生します。
（水分の目安は、土と生ごみを混ぜ手でにぎって形が崩れない程度。）

〇発酵を早めるため、半月に１回程度はスコップで中をかき回し酸素を入れてください。

〇天気のよい日にふたを開け、風と太陽の光を入れてください。

〇発酵を促進させたり、臭いや虫の発生を防止するための発酵促進剤が市販されているので、必要に応じてお使いください。
（目安として400円～800円、発酵促進防虫脱臭剤は600円～1200円程度。）

〇虫が発生した場合は、土や石灰を入れてください。時々発酵促進剤を入れると虫がわきにくくなります。

〇土は水分やにおいを吸収します。においや虫が気になるときは土を多めに入れてください。

〇生ごみ→土→落葉→生ごみ→土　のようにサンドイッチ状に入れる方法が効果的です。

****

補助の内容

＊対　　象：市内在住でコンポスト容器を使用して生ごみ等を適正に自家処理できる方。
※　ただし事業所は除く

＊補助金額：購入価格の２分の１以内の額で、**１基につき３千円を上限**とします。
（100円に満たない端数が生じた場合は、これを切り捨てる）

＊募集台数：**２００基**（１世帯につき２基まで）

****

補助を受けるには？

① 市に申請書提出

この説明書に添付されている申請書に、市内に住所を有していることが証明できる書類（免許証又は保険証等）の写し、納税証明書又は納税状況確認のための同意書を添付して、**市環境政策課まで**郵送又は持参によりお申し込みください。（宛て先は表紙に記載）

受付開始：７月１日（火）から　（予算額に達した時点で締切）

②市から補助決定通知書を送付

申請者が条件に当てはまる場合は、補助金交付決定通知書を送付します。（※決定通知書の送付時期は、**申請日からおおむね10日後**を予定）

③購入について

補助金交付決定通知書に記載している期間内(※交付決定の日から30日以内)にコンポスト容器を購入します。

購入後、次の書類を提出してください。

〇実績報告書

〇商品名・個数・金額・購入先・購入年月日全てが分かる書類（レシート、取扱説明書　又は販売店の記された領収書等　※いずれも写しで結構です。）

〇補助金請求書

注）購入については販売店は指定せず、市内の販売店のほか、市外販売店やインターネット・通信販売で購入した場合も対象となりますが、インターネット・通信販売で購入する場合は、領収書の発行ができるかどうかを必ず事前にご確認ください。

補助金の振込みを希望する口座の名義人が申請者と同一となるようお願いいたします。

※平成27年3月中に申請した方は、3月31日までに購入すること。

コンポストに関するＱ＆Ａ

【補助金】

Ｑ１　密閉式容器や手動式生ごみ処理機は対象になるか？
　　一緒に発酵促進剤等を購入する場合は、発酵促進剤等も対象になるか？

Ａ１　いずれも補助の対象になりません。
　　対象となるものは、土中に埋め込み、土の中の微生物の働きで生ごみ等を分解するタイプのものです。

Ｑ２　コンポスト購入にかかる消費税や送料は対象になるか？

Ａ２　容器本体価格＋消費税が補助対象となります。送料は補助対象となりません。

Ｑ３　申請の際に１基か２基かを決めておく必要があるか？

Ａ３　必要です。申請の際、申請書に基数を記入していただきます。

Ｑ４　最初に１基を申請・購入した後、もう１基必要となった場合は申請できるか？

Ａ４　申請できます。（ただし補助枠（予算額残）のある限りです。）

Ｑ５　２基購入した場合の補助金の計算方法は？

Ａ５　１基ずつ計算して合計した金額が補助金額となります。

【例】5100円（消費税込）のもの１基と5700円（消費税込）１基を購入した場合
　〇5100円　×　1/2　＝2550円　→　2500円（100円未満切捨て）
　〇5700円　×　1/2　＝2850円　→　2800円（　　〃　　）
　　計　　5300円　の補助金支給となります。

【使用】

Ｑ１　コンポストの設置場所は？

Ａ１　日当たりのよい土の上で、土中の微生物が活動しやすいように土の表面をほぐした上に、コンポスト本体下端が地中に10㎝ぐらい埋まるように設置してください。
　　地表に粘土層が出ていたり水はけの悪いところは避けてください。

Ｑ２　投入物は？

Ａ２　台所から出る生ごみ全般となります。なお、水分が多いと嫌気性菌が増え悪臭がするので、生ごみは水を切って入れてください。
　　※米落葉、雑草等の庭ごみも可（水分調整のためにも有効）。

Ｑ３　入れないほうがいい物は？

Ａ３　貝殻や太い骨、かぼちゃなどの大き目の種（発芽する可能性）、プラスチック類、ぬか床など塩分の強いものなどは入れないでください。
　　※腐敗したものも不可。

Ｑ４　コンポストのふたを取ると匂いがする。

Ａ４　次のいずれか、又は組合せにより対応してください。
　　〇土をかける。
　　〇落葉、刈草などの乾いたごみを入れる。
　　〇発酵促進剤を使う。

Ｑ５　ハエが発生した。

Ａ５　落葉、刈草などの庭ごみを入れて水分調整を図ってください。

Ｑ６　一杯になってしまい、ごみが入らなくなったらどうすればいいか。

Ａ６　次の手順で対応してください。
　　① コンポストを上に引抜き、別のところへ設置し直す。
　　② 引抜いた後の山の上のほうの新しいごみはコンポストに入れ直す。
　　③ 下のほうの堆肥化したものは穴に埋めるか、すきこんでおく。